

大宮教育の推進にあたって大切にしたいこと



本校の目指す教育

学校教育目標

自ら学び・考え・行動する子どもの育成
～人とつながり、未来を創造する子をめざして～

目指す子ども像

おおみやっこ
大きな心を持つ子
大きなめあてを持つ子
みんなで力を合わせる子
やりとげる子
とばを大切にする子



- ・「話す」「聞く」ことを基本にした伝え合う力
- ・自分で考え、判断し、実践する力
- ・目標を明確にし、それに向かってやり抜く態度
- ・人間関係力の向上や人権感覚の涵養
- ・規範意識の向上
- ・基本的生活習慣の定着

令和2年度学校経営方針

京都市立大宮小学校
校長 松下 智洋

令和2年度「学校教育の重点」

＜京都市の目指す子ども像＞

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども

〈京都市の目指す子ども像 3つの姿〉

広い視野と感性を持ち、よりよい人生や社会を創造できる

様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる

多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる

«学校運営の7つの柱～全教職員が進める確かな学校教育～»

- ① 子どもの命を守りきる
- ② カリキュラム・マネジメントの視点をもって実践を進める
- ③ 職責を自覚し、常に自己研鑽に努め、教育の質の向上を図る
- ④ 校種間連携・接続を推進する
- ⑤ 「困り」を抱える子ども一人一人に対する支援を行う
- ⑥ 「社会に開かれた教育課程」の下、保護者・地域と連携・協働した取組を推進する
- ⑦ 関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する

重視する視点
『小学校』

子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校全体の教育活動の中で高める。

主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める

日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る

自他を大切にし、「公共の精神」に基づく態度を育む

[確かな学力]

- ①社会とのつながり・接続を感じできる授業への改善
- ②基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実
- ③探究活動を通して、主体的・対話的で深い学びの実現
- ④グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
- ⑤LD等支援の必要な子どもの学力向上

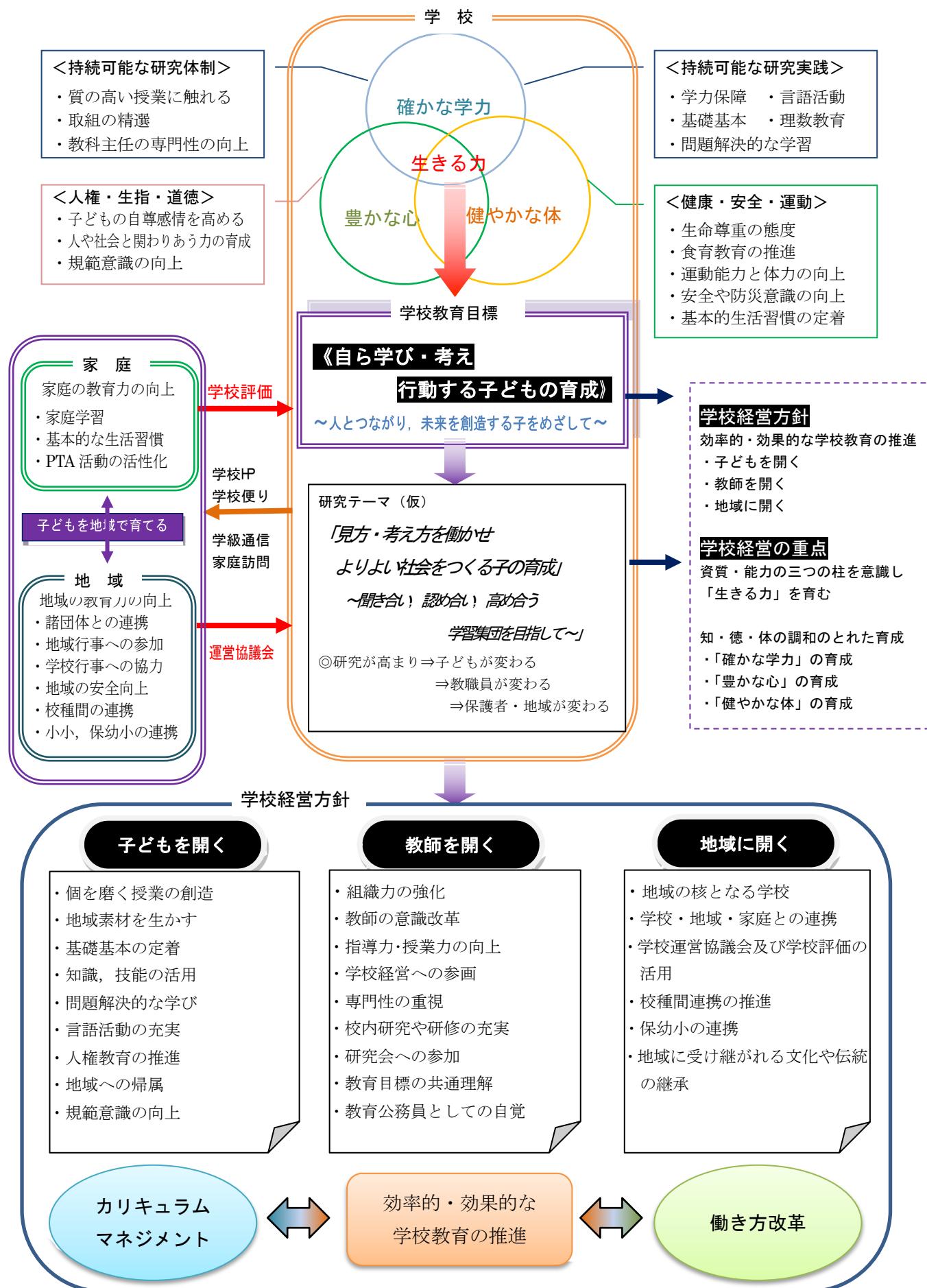
[豊かな心]

- ⑥道徳教育の充実
- ⑦伝統や芸術を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
- ⑧規範意識の育成
- ⑨多様性を理解する姿勢の涵養
- ⑩支え合い高め合う集団作りの推進と絆づくり

[健やかな体]

- ⑪運動やスポーツの実践と体力の向上
- ⑫保健教育の充実
- ⑬飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- ⑭安全教育の充実
- ⑮食に関する指導の推進

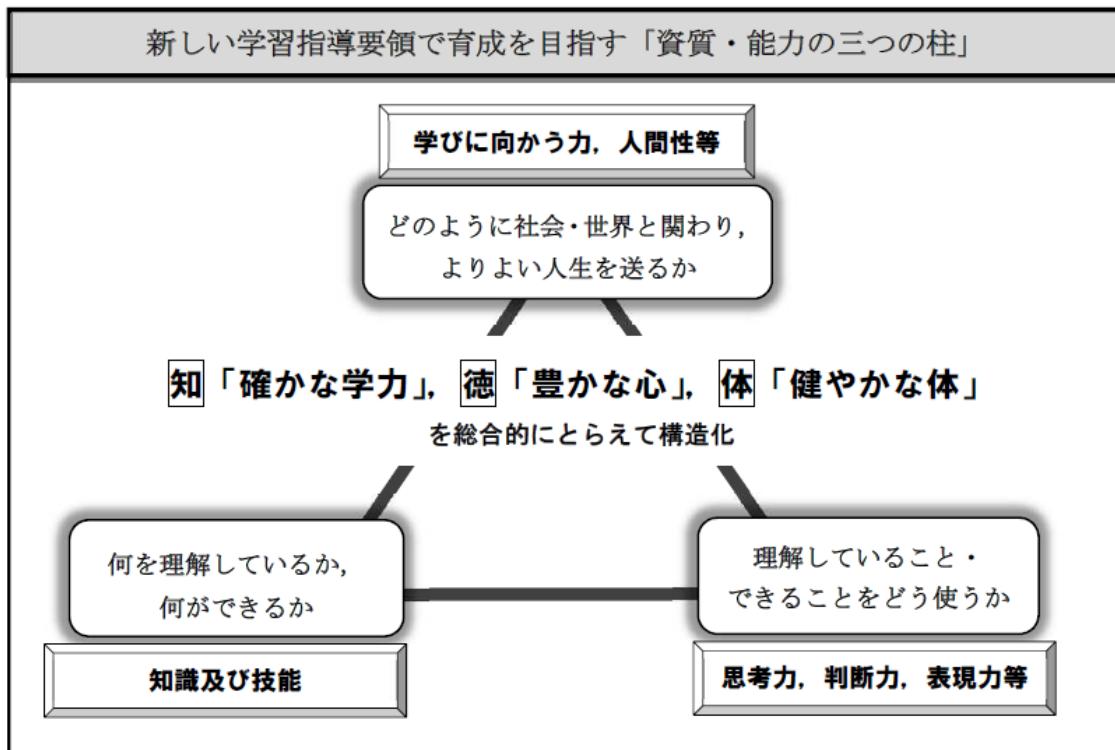
◆学校教育目標の具現化



学校経営の重点

資質・能力の三つの柱を意識し、「生きる力」を育む

知・徳・体の調和のとれた育成



「確かな学力」の育成

- ・ 社会とのつながり・接続を実感できる授業への改善
 - ⇒意欲的に学ぶ集団作り
 - ⇒わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる授業
 - ⇒指導と評価の一体化
- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得と言語活動の充実
 - ⇒基礎的読解力・数学的思考力・情報活用能力⇒プログラミング教育等
 - ⇒思考力・判断力・表現力の効果的な育成⇒めあてに応じた「まとめ」「振り返り」
言語活動の設定と内容の充実
 - ⇒学校図書館の活用⇒学習・情報センター、読書センターとしての位置づけ
 - ⇒自学自習の習慣化
- ・ 探究活動を通した、主体的・対話的で深い学びの実現
 - ⇒スパイラル的な探求の過程
 - ⇒伝統文化教育・環境教育・食育・政治的教養を育む教育など
- ・ グローバル化時代に対応する実践的英語力の育成
 - ⇒言語活動を通してコミュニケーションを図る素地・基礎となる資質・能力を育成
(低中学年: 聞く・話すこと, 高学年: 聞く・話すことに加え読む・書くこと)
- ・ LD等支援の必要な子どもの学力向上
 - ⇒「個別の指導計画」等の活用 (行動面だけでなく学力面への支援の充実)
 - ⇒「ひらがな聞き取りテスト」等のアセスメントの実施

「豊かな心」の育成

- ・ 道徳教育の充実
 - ⇒「しなやかな道徳教育」の実践の推進
 - ⇒「道徳教育推進月間」を位置づけ、家庭や地域社会との共通理解、連携を深める
 - ⇒道徳的価値の理解を深める指導の充実⇒情報モラル・SDGs（環境・平和・人権等）
- ・ 伝統文化や芸術を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
 - ⇒茶道体験等を通じて、自らも伝統や文化を受け継ぐ担い手であることを実感
 - ⇒自然の偉しさや生命との関わりを感じ、考えさせる
- ・ 規範意識の育成
 - ⇒あいさつの励行、学習規律の徹底、基本的生活習慣の確立、児童会活動における指導などを通して望ましい人間関係を築き、集団の一員として協力する態度を育成
 - ⇒薬物乱用防止教室、非行防止教室等の実施
- ・ 多様性を理解する姿勢の涵養
 - ⇒障害についての理解と認識を深める
 - ⇒文化・伝統の多様性を認め、国際協調の精神を培う
- ・ 支え合い高め合う集団作りの推進と絆づくり
 - ⇒生徒指導の三機能（「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」）で関わる教育活動の推進
 - ⇒自己実現につなげる指導⇒児童会等、子どもの主体的・自発的な活動を重視
 - ⇒いじめの防止のため、「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」を組織的に進める

「健やかな体」の育成

- ・ 運動やスポーツの実践と体力の向上
 - ⇒生涯にわたって運動やスポーツに親しむ気運を高める
 - ⇒組織的・計画的な安全管理・健康管理の徹底
- ・ 保健教育の充実
 - ⇒基本的な生活習慣の定着
 - ⇒性に関する指導
- ・ 飲酒・喫煙・薬物に関する推進
- ・ 安全教育の充実
 - ⇒生活・交通・災害安全の指導
 - ⇒災害や学校内外での事件・事故を想定した対応訓練
- ・ 食に関する指導の推進
 - ⇒伝統的食文化の継承や「地産地消（知産知消）」を推進
 - ⇒食物アレルギー・アナフィラキシーに対する正しい知識に基づいた適切な対応